



Title	幾何雑話
Author(s)	松村, 宗治
Citation	全国紙上数学談話会. 1938, 158, p. 203-205
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/74628
rights	
Note	

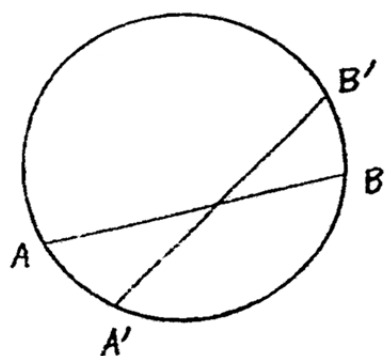
The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

松村 潔治 (台北大)

(I) *Studia Mathematica*, Tom VII, p. 126 = 於ケル H. Auerbach, 論文 = 於テ面積、重心ノ代リ = 弧ノ重心ヲ考ヘル。ツマリ弧ノ上 = 一様 = 質点ガ



配布シテキルトシテノ重心ヲ考ヘル。

ツマリ ABヲベ 卵形線ノ一ツノ弦トシ A'B' 弦ヲバ $\widehat{AA'} = \widehat{BB'}$ ナル様 = 引イテ面積ノ重心ノ代リ = 弧ノ重心ヲ考ヘル。

而スレバ Auerbach 1 論文ト平行ニ論ズルコトが出来ル。

結果ニ於テハ Auerbach 1 論文ニ於ケルト同ジ様ニイヘルトコロモアリ、マタウシバカリ変ハスル所モアル。

(II) Auerbach 1 問題デ最初 AB ヲ上ノ條件ヲ満足スルヤウニカヘルト此等ノ弦ハ卵形線ヲ包絡スルコトニナリ最初 AB ヲ別ノ位置カラシテ出ルセバマタ別ノ卵形線ガ生ジコトニ卵形線ノ群ガ生タル。ソノ群ノ内ニ原ノ卵形線モハイルシ尚原ノ卵形線ノ面積ノ重心モハイル。

弧ノ重心ノ場合ニモ同様ナコトガイヘル。

(III) 以上ノコトヲバ卵形面ニツイテモ論ゼラレル。

(IV) n 次元ユークリッド空間デ $n-1$ 次元ノ球ハ直角座標系ニ關シテ

$$v^0(X_1^2 + \dots + X_n^2) - 2v^1X_1 - 2v^2X_2 - \dots - 2v^nX_n - 2v^{n+1} = 0$$

デ與ヘラレル。

コトニ X_i ハ流座標デアル。

此ノ v^α ヲハ高須教授ノ論文(東北理科報告, 第十七卷, P. 220)ニ於ケル ξ ニトルト同教授ノ論文ノ様ニシテ論ゼラレル。

(V) J. Grünwald 1 論(Ein Abbildungsprinzip etc., Sitzungsberichte der kaiserl. Akad. der Wiss. in Wien, Math.-naturw. Klasse; Bd. CXXIII, Abt.

11a. April 1914, S. 3) を考へ

$$u_1 + u_2^2 - u_3^2 - u_4^2 - 2u_0 u_5 \equiv G_{\alpha\beta} u^\alpha u^\beta$$

トオキ河川教授が岩波講座 XI, p. 115, (第五章) = 於て説明サレテキル様ニシテ u^α / 一次変換ヲ論ズルコトが出来ル。

(VI) 円系表面上 / Radialnetz を考へル (Math. Annalen 19, S. 23 = 於ケル Voss の論文ヲ参照)。

然ルトキハ円系表面上ノ線素 ds ハ下ノ様ニナル。

$$ds^2 = r^2 dt^2 + 2(\theta_t \theta_r) dt dr + dr^2$$

此場合 = Lagally の論文ノ様 (Math. Z. 6, S. 143) = シテ Flächenstreumabbildung を論ズルコトが出来ル。

トセトラバコノ場合 = ハ台北帝大理農學部紀要 II, p. 36 = 於ケル 入ハ 1 = 等シイカラザマル。

(VII) G. Scheffers の論文 (Math. Z. 5, S. 112) = 於ケル論究が円系表面 = ツイテイル。ツマリ $(\theta_t \theta_t), (\theta_t \theta_r), (\theta_r \theta_r)$ ノ間ノ關係ヲ此場合並ニ (VI) ノ場合 = 求メルコトが出来ル。